

宇治市『のぞみ鍼灸整骨院』
伊勢田

被災地支援 希望の種 まく

ひまわり里親プロジェクト

ヒマワリの花で被災地復興を呼びかける『福島ひまわり里親プロジェクト』に協力する宇治市伊勢田町中山のぞみ鍼灸整骨院(小川由智院長)は、昨

年に続き福島町の畑にサンフラワーの種をまいた。

東日本大震災で原発事故にも見舞われた福島県において「ひまわり」を復興のシンボルにしようというのが同プロジェクト。

NPO法人チームふくしま(半田真仁理事長)が県内の若手経営

者や農家に呼びかけ、全国にヒマワリの種を送って育ててもらい、そのヒマワリから獲れた種を再び福島に集め、観光資源となる花畑を作っている。

送られる種はハイブリッドサンフラワーという品種で1袋(50〜70粒入り)500円。

袋の作成や発送作業は福祉作業所などに依頼。注文することが被災者支援にもつながるなど「雇用「絆」忘れない」という様々な思いが込められている。そして、このプロジェ

クトに素早く賛同したのが「のぞみ鍼灸整骨院」。チャリティーマツサイジ施術費用を義援金として被災地に送金する活動も行っており、昨年に栽培したヒマワリの種は、いま福島で花をつけている。

今回も福島町の川北義治さんの好意で土地を借り受け、ヒマワリ栽培をスタート。22日には堀池幼稚園の園児たちと一緒に種をまき、福島県から半田理事長も駆け付けた。

同院スタッフの温かい気持ちがある



地元の幼稚園児らも一緒に種まき作業

う花々から、今年も「希望の種」が獲れる。

このヒマワリは今から秋にかけても栽培可能。里親希望者は〒960-8053・福島県福島市三河南1-20・コラッセ福島6階・福島ひまわり里親プロジェクト事務局(加024-529-5153)まで問い合わせを。ホームページは同プロジェクト名で検索できる。